

第 101 回全国高等学校野球選手権新潟大会 大会会長挨拶

R 元. 7. 6

皆さん、おはようございます。

第 101 回全国高等学校野球選手権新潟大会の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、新潟県教育委員会教育長 稲荷 善之 様、県教育庁保健体育課長 灰野 正宏 様をはじめ、多数のご来賓の皆様をお迎えし、開会式を行えますことに心から感謝申し上げます。

「甲子園！」なんとよい響きでしょうか。その出場権をかけ、令和最初の熱い戦いの幕が切って落とされます。本連盟では、今大会を「高校野球の未来に向けた大会」と位置付けているところですが、皆さんは、平常心で試合に臨み、今まで培ってきた練習の成果を出し切ってもらいたいと思います。

皆さんの、今大会での全力プレー、日常生活は、野球に取り組む子どもたちにとっては、まぶしいものです。現在、野球を取り巻く状況は、憂慮すべきものとなっていますが、皆さんの野球にひたむきに取り組む姿が、次代を担う子どもたちに大きな夢を与えてくれるものと確信しています。ぜひ、「野球の将来に光射すようなプレー」を期待しています。

さて、今大会は、本連盟加盟すべての学校の出場がかなわず、77チーム・85校の出場となります。出場できなくても日々練習してきたことは、今後の日常生活に大いに役立つことでしょう。グラウンドで自己表現できる選手の皆さんは、多くの野球を愛する皆さんの思いを胸に刻んで、プレーして欲しいと思います。そうした他者を尊重し、困難に立ち向かう勇気を持ち、選手も裏方に徹する野球部員もそれぞれが全力を尽くす。そして何よりも野球というスポーツを楽しむため、勝利目指して覚悟を持ってあきらめずに取り組む、こうした一人ひとりの活動に本連盟の活動は支えられていると思います。今一度、一人ひとりが自覚を持ち、スポーツマンシップに則った試合を、そして日常を展開してほしいと考えます。今大会における全ての試合が、「グッドゲーム」と言ってもらえるよう皆さんの一層の努力をお願いします。

スタンドにお越しにいただいている皆様をはじめ、高校野球を愛する多くの皆さんからは、球場に足を運んでいただくと同時に、各野球部員の日常生活においてスポーツマンシップが体現できているか、ご指導願いたいと思っています。

結びに、今大会の開催に御尽力いただいております新潟県、県教育委員会、並びに開催市、開催し教育委員会、審判委員の皆さんをはじめ、大会運営にご協力いただきます関係各位に、心から感謝申し上げます、開会の挨拶といたします。